

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	発達療育レンテ市川			
○保護者評価実施期間	利用者がいなかったため実施なし			
○保護者評価有効回答数				
○従業者評価実施期間	2025年4月25日		～ 2025年4月28日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	※2024年度は利用者無しのため、実施する仮定にて記載 個々の子供に対して最善の利益を提供するべく、適切なアセスメントおよびプログラム作成を行っている	・丁寧なアセスメントと保護者へのヒアリング ・多様な課題に応えるプログラムの設定	より多くの職員がアセスメントやプログラム作成を実施するためのスキル研修
2	保護者に対して、プログラムや生活環境の改善のための適切な情報提供を行い、円滑な意思疎通に努めている	・定期的な面談の実施と丁寧なヒアリング ・充実した面談を行うためのシステム整備 ・子供の課題に応えるための職員間の情報交換	・外部研修や勉強会によるスキル向上
3	サービス実施にふさわしい業務体制を整え、個人情報の取扱や各記録、マニュアルの整備などを実施している	・個人情報取扱い手順を徹底するための職員教育 ・円滑な記録作成及び記録漏れチェックのシステム整備 ・マニュアル整備	・よりよい業務体制実現のための改善会議の実施 ・業務運用に関する定期的な研修の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動環境の整備 (運動スペースのマットがはがれやすく、安全面で改善の余地あり)	ジョイントマットでは定期的な敷き直しが必要となり、整備コストが高いため、はがれたままになってしまうことがある	はがれにくいマットに交換する等の環境整備
2	地域に開かれた事業所の運営が実施できていない	設備の立地上、地域に対して児童発達支援・放課後等デイサービス事業を実施していることを公表するにあたりメリットとデメリットがある	地域との交流の方法を、可能な範囲で模索する
3	父母の会など、保護者同士の交流の機会がない	今年度は利用者がおらず、実施機会が設定できていない	利用児が増えた場合、必要な取り組みを検討する